

戦後100年 経済発展する 沖縄の未来像

沖縄は今、観光・国際物流を核として、経済が大きく発展する方向に向かいつつあります。地理的優位性、人口増加を背景とした沖縄の可能性を活かすために、様々な立場の方々が積極的に「沖縄の未来像」を描き、施策を検討することが求められています。

今回の土曜教養講座では、県民生活を支える経済振興を論じ、それを実現するための県土のゾーニングや基地の跡地利用、国際都市形成に向けた那覇空港・港湾のあり方、北部・宮古・八重山における自然を活かした生活環境整備等について、産業政策や貿易・観光の視点も含め、「沖縄の未来像」について討議を行います。

聴講料
無料
事前予約不要

2018年 5月19日 土

時間 ▶ 14:00 ~ 17:00

開場時間 ▶ 13:30

場所 ▶ 沖縄大学アネックス共創館
※裏面に地図があります。

プログラム

14:00 開会・ご挨拶
仲地 博 (沖縄大学学長)
第一次提言の説明
藤中 寛之氏 (沖縄の未来像研究会事務局)

講演 14:30 「チャースガウチナー / 課題と展望」
上原 良幸氏 (元沖縄県副知事)

15:00 パネリスト
宮城 弘岩氏 ((株) 沖縄物産企業連合 取締役会長)
下地 芳郎氏 (琉球大学国際地域創造学部 教授)
又吉 章元氏 (沖縄の未来像研究会 代表)
畠山 大氏 (北海道教育大学教育学部 准教授)
コーディネーター
島袋 隆志 (沖縄大学法経学部 准教授 地域研究所副所長)

16:10 休憩

16:20 質疑応答

16:40 まとめ

17:00 閉会の挨拶



上原 良幸
元沖縄県副知事



宮城 弘岩
(株) 沖縄物産企業連合
取締役会長



下地 芳郎
琉球大学国際地域創造学部 教授



又吉 章元
沖縄の未来像研究会 代表



畠山 大
北海道教育大学教育学部 准教授



コーディネーター
島袋 隆志
沖縄大学法経学部 准教授
地域研究所副所長